

# 稜友

*March 2014, No.231*



三五郎山で(撮影 橋本)

新潟稜友会

Home page [http://homepage3.nifty.com/niigata\\_ryoyu/](http://homepage3.nifty.com/niigata_ryoyu/)

## 巻頭言

---

---

小川さんからの巻頭言が届きませんでした。次回は宜しく御願います。

(小川 嘉博)

次回の巻頭言は小杉さんです。よろしく！

## 2014年 例会年間予定

---

---

例会日	担当	例会内容	備考
1月15日(水)		公募登山の準備	
2月19日(水)		公募登山の準備	
3月19日(水)		事故発生時の対応	
4月16日(水)			
5月21日(水)			
6月18日(水)			
7月16日(水)			
8月20日(水)			
9月17日(水)			
10月15日(水)			
11月19日(水)		総会の議題協議	
12月6、7日(土・日)		6日-忘年会、7日-総会	
12月17日(水)			

## 2014年 今月のコラム・巻頭言・編集担当者・原稿締切日一覧

月	今月のコラム(*)	巻頭言	編集担当者	原稿締切日
1月	大島	海老名	大島	1/04(土)
2月	海老名	大島	大島	2/08(土)
3月	金子	小川	大島	3/08(土)
4月	佐藤(孝)	小杉	大島	4/05(土)
5月	設楽	鈴木	関川	5/10(土)
6月	杉田	関川	三木	6/07(土)
7月	須藤	橋本(寅)	関川	7/05(土)
8月	中村	肥后(明)	関川	8/09(土)
9月	橋本(聡)	丸山(和)	三木	9/06(土)
10月	橋本(寅)	三木	小川	10/04(土)
11月	丸山(和)	大西	肥后(明)	11/08(土)
12月	大西	金子	大島	12/06(土)

(\*) 秘湯、レシピ、こだわりの道具、子育てなどなど、各自自由なテーマで執筆。

2014年公募体験登山が以下のように決まりました。

時期	山行内容	担当	予定候補
3月9日	雪山体験、スノーハイク	金子	川内山塊宝蔵山
4月13日	早春トレッキング	関川	八石山
5月11日	クライミング体験	海老名	杉滝岩
8月31日	沢登り体験	海老名	三国川十字峡
10月19日	紅葉トレッキング	金子	信越トレイル
11月16日	初冠雪トレッキング	金子、海老名	谷川岳天神尾根

稜友会ホームページにも掲載されていますので、内容を確認して下さい。

担当は変更される場合もあります。

## 山行報告

日程	山域(形態)	メンバー
2/10	柄沢山(山スキー)	佐藤(康)
2/22	野谷荘司(山スキー)	佐藤(康)

2/23	突鷄峰(山スキー)	佐藤(康)
3/9	大蔵岳、三五郎山(山スキー)	L. 橋本(寅)、橋本(聡) 佐藤(孝)、杉田、関川、大島

## 柄沢山(山スキー)

2014/2/10 天候 雪

25000 分の 1「巻機山」

メンバー 佐藤(康)

清水部落 9:15～柄沢川～1100m～1620mの尾根～1300mから滑降 13:10～清水部落 14:30

カモシカのトレースを追いかけて、1300m付近まで。

カモシカやらリス？ヤマネ？(冬眠してないのか？)

単独で山に入ると静かで良いですね。

小雪ですが、雪質もよく楽しめた 1 日でした。

(佐藤 康彦)

## 野谷荘司山(山スキー)

2014/2/22 天候 晴れ

25000 分の 1「新岩間温泉」

メンバー 佐藤(康) 他会多数

2/16 の雪崩事故で無くなった友人の装備回収に行ってきました。

聡明で、おごらず真摯に山に向き合い、そしてスキーが上手かった彼。

ご冥福を祈ります。

残念でなりません。

(佐藤 康彦)

## 突鷄峰(フリーストレック)

2014/2/23 天候 晴れのち曇り

25000 分の 1「槇」

メンバー 佐藤(康)

突鷄峰に行ってきました。

6:30 飛山の方面から入山しましたが、1030m付近までしかいけませんでした。

下山時間は、16:30

条件悪く、とにかく疲れた1日でした。

(佐藤 康彦)

## 大蔵岳、三五郎山(山スキー)

2014/3/9 天候 晴れのち曇り

25000分の1「馬下」、「村松」

メンバー L. 橋本(寅)、橋本(聡)、佐藤(孝)、杉田、関川、大島

7:40 大蔵岳登山口駐車場発 8:40 二合目着 10:40 大蔵岳着 11:20 三五郎山着

13:30 下山開始 15:00 駐車場着

ちょうど2年前の3/11に裏側の笹目集落から兎平経由で三五郎山に登ったが(山スキー)、今回は一般的なコースからの登山となった。朝6時に亀田体育館の駐車場に集合の予定が、佐藤(孝)さんだけが到着しない。家に電話をしても誰も出ない。とりあえず30分待ち再度電話すると、寝坊したとのことで家まで迎えに行き全員集合、一路登山口を目指す。

駐車場から林道を1.5kmほど歩き三五郎橋を渡ると斜面に取付く登山口となる。いきなり樹林帯の急登が始まる。日陰の斜面で登山道は凍結しており、昨夜来の雪が表面にうっすら積もり、すべて歩きにくい。二合目あたりで各自スキーを履く。男女1名ずつの1パーティーが追い越して行く。稜線に出ると天気もよく風もない。大蔵岳まで急な登りはないがアイゼンを付けた方が楽だったようだ。大蔵岳山頂の鐘を鳴らし、三五郎山を目指す。

三五郎山をわずかに下ったところで宴会場を設定しフライを張る。大蔵岳、三五郎山とも本日は我々が一番乗りだったが、その後続々と人が来る。外の喧騒をよそにフライの中でビールで乾杯、ゆっくりくつろぐ。

下山は往路を戻る。大蔵尾根(我々のルート)の1本南の尾根578mピークあたりに大集団(20人ほど)が見える。体験ツアーのように見える。本来であれば今日は新潟稜友会公募登山第1回目なのだが、応募がなかったようだ。残念。例年、5月の連休明けくらいから入会希望者が来るようなので慌てる必要はない。

大蔵岳からはほとんど登り返しがないが、長板と技術の未熟さそれに久々の山ということでゆっくりゆっくり下る。登りでスキーを履いたあたりでスキーを脱ぐ。樹林帯の道はさすがに凍結も溶けていた。忘年会で利用した馬下保養センターで汗を流す。

(大島 伸幸)

## 今月のコラム

3月、年度末であり別れの季節。学校や職場でも様々な別れがあるが、11日には多くの辛い別れがあり、未だ故郷への帰宅がままならない人もいる。

私達も大切な友との別れがあった。心の傷を癒すには時間が必要というが、残された家族の方にはまだ時間が足りず体調を崩されたとも聞く。

私達もその真実を受け止め、何が出来るかこれからも考え続けていなければならない。

(金子 恒夫)

### ● 会費について

☆会員 年会費9,000円(夫婦会員は2人で16,000)  
保険料 5,000円～ 月割可(詳細は金子まで)

☆会報会員 年会費1,000円(月報の電子配信会員)

- ・ 1月末までに下記講座への振込をお願いいたします。

郵便局 記号: 11220 番号: 23683431 口座名: 新潟稜友会

- ・ 不明な点は丸山亮子まで

### ● 会員だけの掲示板が出来ました

山行計画、下山報告、住所変更、アドレス変更などに利用してください。  
会のホームページの掲示板ページからもログインできるようになっています。  
会員専用掲示板は一般公開されません。  
公開してもかまわない記事は今まで同様掲示板に投稿してください。

アドレス: <http://8421.teacup.com/msudou/bbs>

携帯電話(iモードなど)からも閲覧、書込み可能です。

ID・パスワードは、知っている会員から聞いてください。

### ● 万代市民会館集会室利用方法

最初に来館した人は、4階ロッカー室の稜友会の棚から、当日の日付が書いてある利用許可書1枚を持って1階受付に提出し、必要事項に記入の上、部屋のカギを受け取って会場に入って下さい。

●必ず守ってください

山行計画書、下山報告共に  
金子・海老名  
まで、FAX・メール・携帯電話等で連絡の事

次回原稿締め切り 4月5日(土) 担当:大島 まで

●原稿形式

形態を ( ) で

日付は全角、西暦で

地図・地区もなるべくつけてください

鳥海山湯ノ台口(山スキー)

2000年6月3日(土)～4日(日) 2万5千円「湯ノ台」「鳥海山」

メンバー L

3日 7:00 湯ノ台口 10:00 滝ノ沢小屋 …横書きで

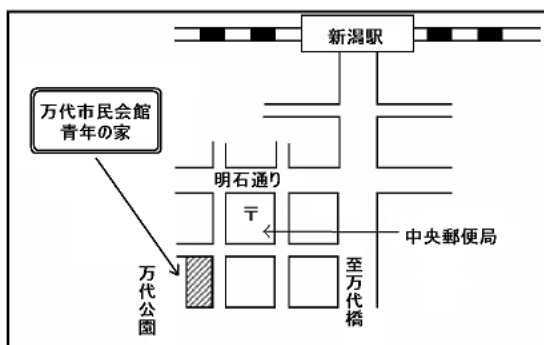
本文

(橋本寅信)…カッコでフルネーム

★表紙に写真を載せて欲しい人は月報担当者にネガ(または写真)を送るか、電子データとしてメールで送って下さい。表紙以外で写真を載せて欲しい人は担当者に渡して下さい。テキスト形式が基本ですが、ワードで原稿を送ってもOKです。FDの場合は、プリントアウトしたものを同封して下さい。

## 新入会員募集中！

毎月第3水曜日pm7:30～万代市民会館4階の「青年の家」にて集会を開催しています。  
気楽に顔を出して下さい。詳しくは、TEL 025-223-0393 金子恒夫



[編集後記]

コラムにもありますが、又3/11がやってきました。私は被災した現地には一度も行っていませんが、まだまだ大変なのでしょう。その翌日早朝の長野県北部地震の揺れは短時間でしたが非常に大きく、瞬時に眼が覚めました。2年前の信越トレイルで栄村に行った時は、いたる所で道路工事が行われていました。山間過疎地を復興させるのは本当に大変なことだと思いました。原発の廃炉は始まったばかりで、100年単位の時間が必要なのでしょう。せめて1年1年良くなっていく姿を見たいと思っています。  
(大島)



月報「稜友」March, 2014 No.231 2014年3月19日発行

発行者 新潟稜友会 代表 金子恒夫

〒951-8081 新潟市寄附町 5006 Tel 025-223-0393

